

令和6年度 在宅医療県民意識調査 実施報告書

令和7年2月
一般社団法人 長野県医師会

アンケート調査の概要

▶ 調査実施

▶ 調査実施日

▶ 令和7年(2025年) 2月6日(木)～7日(金)

▶ 調査対象

▶ 長野県内在住30歳～60歳以上

▶ 実施方法

▶ ネットアンケート

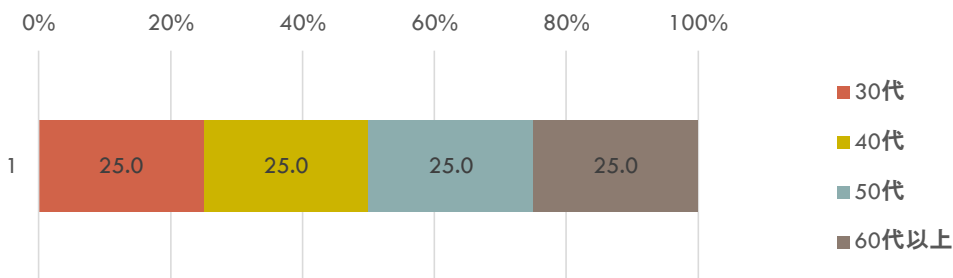
▶ 楽天インサートのアンケートシステム利用

▶ 回答者数

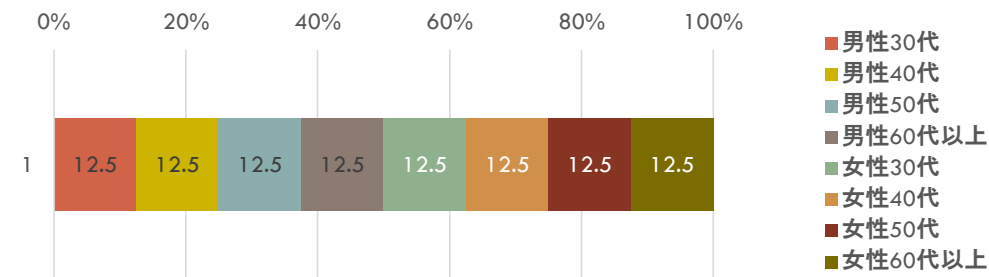
▶ 長野県内在住者 1,000人

▶ 基礎データ

▶ 年代比率



▶ 性別年代比率



※年代比率および性別年代比率について、70代、80代のネット利用者が少ないことから、調査客体を確保するため、60代以上として調査を実施。

アンケート実施画面1

テーマ「人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）について」

「人生会議」とは、アドバンス・ケア・プランニングの愛称です。
もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取り組みのことです。

Q1

必須

あなたは「人生会議」という言葉をどんなメディアで知りましたか。

- ☐ 1. 県や市町村の広報（誌）
- ☐ 2. テレビ・ラジオ
- ☐ 3. ポスター・パンフレット
- ☐ 4. インターネット
- ☐ 5. 聞いたことがなかった（いま、ここで知った）
- ☐ 6. その他

次へ

Q1で「知っている」項目に答えた人への設問

Q2

必須

人生会議について、どのくらいご存知ですか？

- ☐ 1. 言葉だけ知っている
- ☐ 2. 言葉とだいたいの内容を知っている
- ☐ 3. 詳しい内容まで知っている

次へ

Q3

必須

あなたは、最期の医療・ケア（延命治療など）が必要になった場合、どこで治療したいですか。
（いくつでも）

- ☐ 1. 自宅
- ☐ 2. 病院などの医療機関
- ☐ 3. 特別養護老人ホームなどの介護施設
- ☐ 4. 考えたくない(排他)
- ☐ 5. その他

次へ

アンケート実施画面2

■人生会議では、ご自身の健康や病状について、かかりつけ医等に相談して、正確な情報を知ることが大切です。

Q4
必須

あなたは、ご自身の健康や病状について、かかりつけ医から説明を受けていますか。

- ☐ 1. 説明を受けている
- ☐ 2. 説明を受けていない
- ☐ 3. かかりつけ医がない

次へ

Q5
必須

人生会議では、あなたの希望や思いについて、ご家族やご友人だけでなく、医療ケアチームとも繰り返し話し合うことが大切になります。

あなたは、ご自身が望む医療・ケアについて、あなたの信頼する人（ご家族や親族など）と話し合い（人生会議）をしていますか。

- ☐ 1. している
- ☐ 2. していない

次へ

Q5で「話し合いをしている」と答えた人への設問

Q5-1
必須

どなたと話し合いをされていますか。
(いくつでも)

- ☐ 1. ご家族✳
- ☐ 2. 親族✳
- ☐ 3. ご友人✳
- ☐ 4. かかりつけ医✳
- ☐ 5. かかりつけ医以外の医療介護職✳
- ☐ 6. その他✳

次へ

アンケート実施画面3

Q5で「話し合いをしている」と答えた人への設問

Q5-2 どのようなことを話し合われていますか。
必須 (いくつでも)

- ☐ 1. 延命治療（人工呼吸器設置や胃ろうの増設）を実施するかどうか
- ☐ 2. 在宅での急変時に救急要請を行うかどうか
- ☐ 3. 在宅でかかりつけ医による看取りを希望するかどうか
- ☐ 4. 介護・ケアを誰にお願いするか
- ☐ 5. その他

次へ

Q5で「話し合いをしている」と答えた人への設問

Q5-3 人生会議では、あなたが意思表示出来なくなった場合に備えて、あなたに代わり意思表示をして
必須 くれる代理人を選ぶことが大切になります。
あなたは、ご自身が意思表示出来なくなった場合に備えて、代理人を決めていますか。

- ☐ 1. 代理人を決めている
- ☐ 2. 代理人を決めていない

次へ

Q5で「話し合いをしている」と答えた人への設問

Q5-4 人生会議で話し合った内容を書面に残していますか？
必須

- ☐ 1. 残している
- ☐ 2. 残していない

次へ

Q5で「話し合いをしていない」と答えた人への設問

Q6 話し合いをされていない理由はなんですか。
必須

- ☐ 1. 関心がない、話し合う必要がない
- ☐ 2. まだ話し合う時期ではない（健康である、年齢が若いなど）
- ☐ 3. 話し合いをしたいが、話をする人がいない
- ☐ 4. 縁起ではないと思う、または縁起ではないと言われるため話題にしにくい
- ☐ 5. その他

次へ

アンケート実施画面4

Q7
必須

人生会議で話し合ったことは、その後、本人の気持ちや環境の変化によって、その内容を変更することができます。
人生会議は一度だけではなく、何度でも行なって考え直せることをご存知でしたか？

- ☐ 1. はい
- ☐ 2. いいえ

次へ

Q8
必須

今後、人生会議についてのシンポジウムが近くで開催された場合、参加したいと思いますか。

- ☐ 1. 思う
- ☐ 2. 思わない
- ☐ 3. どちらとも言えない

次へ

Q9
必須

もし、人生会議をするなら、またはすでにした場合、あなたにとって大切なテーマはなんですか。
(いくつでも)

- ☐ 1. 家族の生活面の負担
- ☐ 2. 経済面の負担
- ☐ 3. 医療とケア面のサポート体制
- ☐ 4. 自分の自由な時間の過ごし方
- ☐ 5. 家族や友人との時間の過ごし方
- ☐ 6. 延命治療についての対応
- ☐ 7. その他

次へ

アンケートにご回答いただき、ありがとうございました。

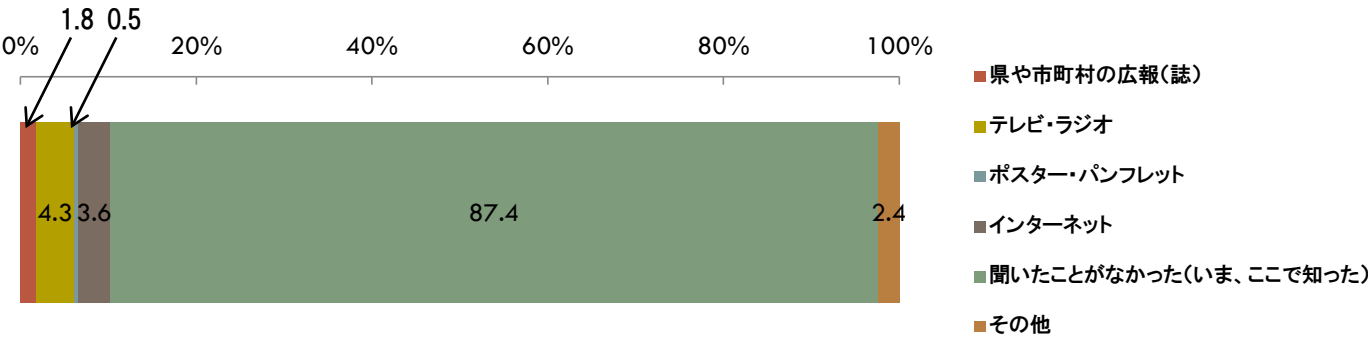
【あなたご自身に関するアンケート】の獲得ポイント

〇〇ポイント

閉じる

アンケート結果および考察

▶ Q1.あなたは「人生会議(アドバンス・ケア・プランニング)」という言葉をごどんなメディアで知りましたか。



		n	県 や市 町村 の 広 報 (誌)	テ レ ビ ・ ラ ジ オ	ポ ス タ ー ・ パ ン フ レ ッ ト	イ ン タ ー ネ ッ ト	聞 い た こ と が な か っ た	そ の 他
全体		1000	1.8	4.3	0.5	3.6	87.4	2.4
性別	男性	500	1.2	1.8	3	2.6	43.2	9
	女性	500	6	2.5	2	10	44.2	15
年代	30代	250	10	9	2	17	206	6
	40代	250	4	3.6	0.8	6.8	82.4	2.4
	50代	250	2	1.5	1	8	214	10
	60代以上	250	3	7	2	5	230	3
割付	<男性> 30代	125	8	5	1	14	94	3
	<男性> 40代	125	2	6	0	5	107	5
	<男性> 50代	125	1.6	4.8	0.0	4.0	85.6	4.0
	<男性> 60代以上	125	0	1	2	4	118	0
	<女性> 30代	125	0.0	0.8	1.6	3.2	94.4	0.0
	<女性> 40代	125	2	4	1	3	112	3
	<女性> 50代	125	1.6	3.2	0.8	2.4	89.6	2.4
	<女性> 60代以上	125	0	9	1	3	107	5
	<女性> 30代	125	0.0	7.2	0.8	2.4	85.6	4.0
	<女性> 40代	125	3	6	0	1	112	3

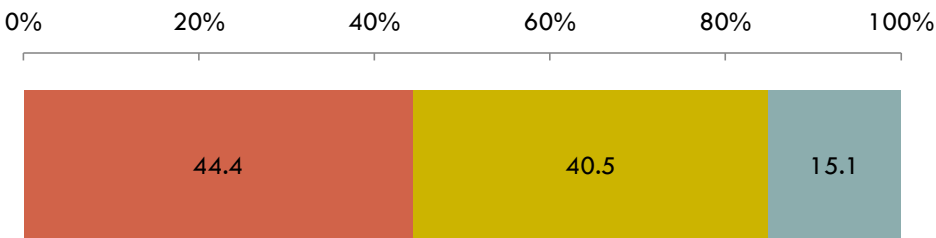
【考 察】

これまで同調査では、言葉の認知度調査を実施してきた。「知っている」との回答者数は、
 平成30年度 66人
 令和1年度 133人
 令和2年度 88人
 令和3年度 80人
 令和4年度 80人
 令和5年度 130人
 そして
 令和6年度は126人
 全体の約1割と年度別変化はない。性年代別では、30代男性の認知度がやや高く、メディア別では、電波媒体とネット媒体が多少多いのも昨年と同様の傾向である。
 回答者がネット利用者であることを加味すると、電波媒体がやや多く、健闘している。

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

* グレー表記はベースがn=29以下のため参考値

▶ Q2.人生会議について、どのくらいご存知ですか？



■ 言葉だけ知っている

■ 言葉とだいたいの内容を知っている

■ 詳しい内容まで知っている

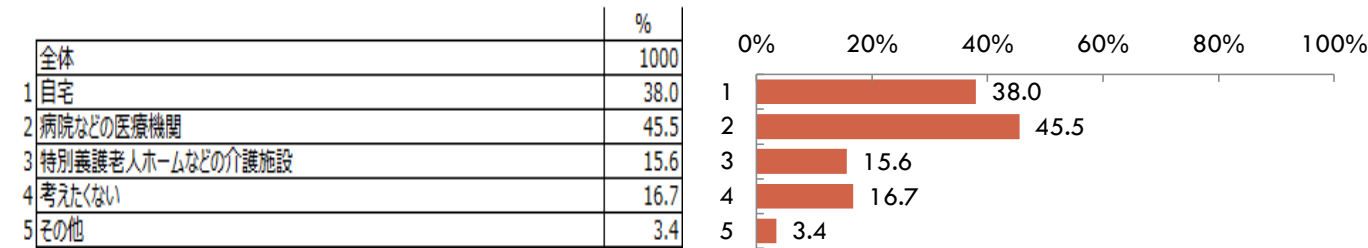
		n	言葉 だけ 知っ てい る	知 っ て い る 言 葉 と だ い た い の 内 容 を	詳 し い 内 容 ま で 知 っ て い る
全体		126	56	51	19
		100.0	44.4	40.5	15.1
性別	男性	68	30	26	12
	女性	58	26	25	7
		100.0	44.8	43.1	12.1
年代	30代	44	18	18	8
	40代	36	16	11	9
	50代	20	10	9	1
	60代以上	26	12	13	1
		100.0	46.2	50.0	3.8
割付	<男性> 30代	31	12	12	7
	<男性> 40代	18	8	5	5
	<男性> 50代	7	4	3	0
	<男性> 60代以上	12	6	6	0
	<女性> 30代	13	6	6	1
	<女性> 40代	18	8	6	4
	<女性> 50代	13	6	6	1
	<女性> 60代以上	14	6	7	1
		100.0	42.9	50.0	7.1

【考 察】

今回の調査では、従来の認知度調査を一步進めて、理科度調査をプラスした。本設問はメディアを通して、「人生会議」を知っていると答えた126人に対して、その理解度を精査したものである。

その結果「言葉だけ知っている」が44.4%。内容について理解しているのは、55.6% (70人)。これは総数との比率でみると、わずかに7%である。

▶ Q3.あなたは、最期の医療・ケア(延命治療など)が必要になった場合、どこで治療したいですか。(いくつでも)



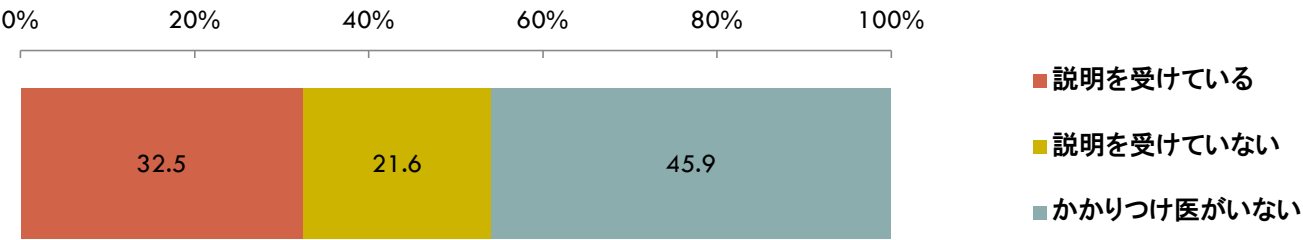
		n	自宅	病院 などの 医療 機関	特別 養護 老人 ホーム などの 介護 施設	考え たく ない	そ の 他
全体		1000 100.0	380 38.0	455 45.5	156 15.6	167 16.7	34 3.4
性別	男性	500 100.0	205 41.0	213 42.6	62 12.4	96 19.2	12 2.4
	女性	500 100.0	175 35.0	242 48.4	94 18.8	71 14.2	22 4.4
年代	30代	250 100.0	114 45.6	112 44.8	47 18.8	43 17.2	9 3.6
	40代	250 100.0	116 46.4	99 39.6	43 17.2	43 17.2	6 2.4
	50代	250 100.0	76 30.4	108 43.2	31 12.4	52 20.8	12 4.8
	60代以上	250 100.0	74 29.6	136 54.4	35 14.0	29 11.6	7 2.8
割付	<男性> 30代	125 100.0	56 44.8	50 40.0	18 14.4	25 20.0	5 4.0
	<男性> 40代	125 100.0	63 50.4	48 38.4	17 13.6	22 17.6	3 2.4
	<男性> 50代	125 100.0	46 36.8	45 36.0	11 8.8	33 26.4	3 2.4
	<男性> 60代以上	125 100.0	40 32.0	70 56.0	16 12.8	16 12.8	1 0.8
	<女性> 30代	125 100.0	58 46.4	62 49.6	29 23.2	18 14.4	4 3.2
	<女性> 40代	125 100.0	53 42.4	51 40.8	26 20.8	21 16.8	3 2.4
	<女性> 50代	125 100.0	30 24.0	63 50.4	20 16.0	19 15.2	9 7.2
	<女性> 60代以上	125 100.0	34 27.2	66 52.8	19 15.2	13 10.4	6 4.8

【考 察】

昨年同様に最期を迎える場所についての設問。自宅（38.0%）よりも医療機関や介護施設など（61.1%）を望む声が23.1%上回った。昨年は20.9%であり、大きな変動は見られない。

性年代別では、40代男性、30代女性など若い世代が「自宅」を望み、60代男性、60代女性と、高齢になるほど「医療機関」を望む声が多い。「介護施設」は30代40代女性がやや多いが有意な差はない。「考えたくない」は働き盛りの50代男性が多い。

▶ Q4.あなたは、ご自身の健康や病状について、
かかりつけ医から説明を受けていますか。



		n	説明を受けている	説明を受けていない	かかりつけ医がない
全体		1000	325	216	459
		100.0	32.5	21.6	45.9
性別	男性	500	165	103	232
		100.0	33.0	20.6	46.4
	女性	500	160	113	227
		100.0	32.0	22.6	45.4
年代	30代	250	62	48	140
		100.0	24.8	19.2	56.0
	40代	250	70	48	132
		100.0	28.0	19.2	52.8
	50代	250	84	51	115
		100.0	33.6	20.4	46.0
	60代以上	250	109	69	72
		100.0	43.6	27.6	28.8
割付	<男性> 30代	125	28	22	75
		100.0	22.4	17.6	60.0
	<男性> 40代	125	32	25	68
		100.0	25.6	20.0	54.4
	<男性> 50代	125	41	25	59
		100.0	32.8	20.0	47.2
	<男性> 60代以上	125	64	31	30
		100.0	51.2	24.8	24.0
	<女性> 30代	125	34	26	65
		100.0	27.2	20.8	52.0
	<女性> 40代	125	38	23	64
		100.0	30.4	18.4	51.2
	<女性> 50代	125	43	26	56
		100.0	34.4	20.8	44.8
	<女性> 60代以上	125	45	38	42
		100.0	36.0	30.4	33.6

【考 察】

この設問は例年2択方式でかかりつけ医を「持っている」「持っていない」で集計している。

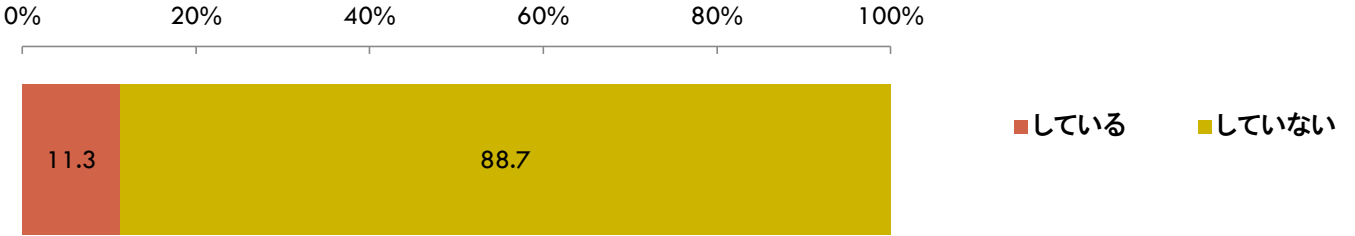
「持っている」回答者数の推移は、
令和2年度402人
令和3年度368人
令和4年度396人
令和5年度407人
令和6年度541人
(説明を受けている＋説明を受けていない)

調査開始以来、初めて半数を超えた。

年代別に見ると、男女ともに年代が上がるにつれて、かかりつけ医を「持っている」率が高くなる。

「説明を受けていない」が男女ともに60代以上がやや多いことは特徴的である。

▶ Q5.人生会議では、あなたの希望や思いについて、ご家族やご友人だけでなく、医療ケアチームとも繰り返し話し合うことが大切になります。
 あなたは、ご自身が望む医療・ケアについて、あなたの信頼する人(ご家族や親族など)と話し合い(人生会議)をしていますか。

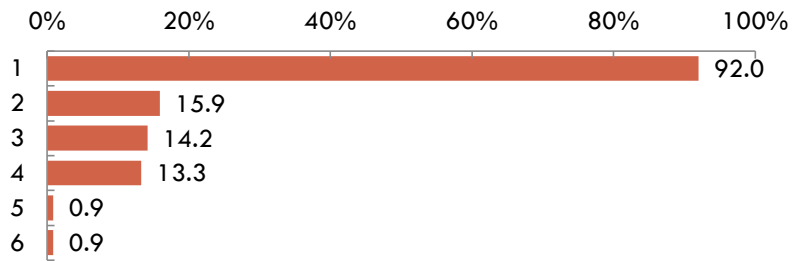


		n	している	していない
全体		1000	113	887
		100.0	11.3	88.7
性別	男性	500	56	444
		100.0	11.2	88.8
女性	女性	500	57	443
		100.0	11.4	88.6
年代	30代	250	29	221
		100.0	11.6	88.4
	40代	250	20	230
		100.0	8.0	92.0
50代	50代	250	31	219
		100.0	12.4	87.6
60代以上	60代以上	250	33	217
		100.0	13.2	86.8
割付	<男性> 30代	125	15	110
		100.0	12.0	88.0
	<男性> 40代	125	8	117
		100.0	6.4	93.6
	<男性> 50代	125	19	106
		100.0	15.2	84.8
	<男性> 60代以上	125	14	111
		100.0	11.2	88.8
	<女性> 30代	125	14	111
		100.0	11.2	88.8
	<女性> 40代	125	12	113
		100.0	9.6	90.4
	<女性> 50代	125	12	113
		100.0	9.6	90.4
	<女性> 60代以上	125	19	106
		100.0	15.2	84.8

【考 察】
 「人生会議をしている」回答者の年度別推移は、令和1年度 17.4%、令和2年度 18.1%、令和3年度 16.1%、令和4年度 14.8%、令和5年度 12.6%、令和6年度 11.3% やや減少傾向にある。年代別では60代以上が一番多い。性年代別を見ると、男女ともに40代の「している」比率が最も少ない。30代が少し多いのは、人生会議を必要とする高齢者の対話相手となる子供世代だからであろう。こうした傾向は、調査開始以来、大きな変動が見られない。

▶ Q5-1.どなたと話し合いをされていますか。(いくつでも)

	%
全体	113
1 ご家族	92.0
2 親族	15.9
3 ご友人	14.2
4 かかりつけ医	13.3
5 かかりつけ医以外の医療介護職	0.9
6 その他	0.9



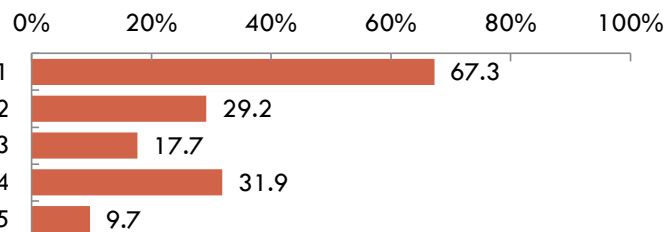
		n	ご家族	親族	ご友人	かかりつけ医	医療介護職	かかりつけ医以外の	その他
全体		113	104	18	16	15	1	1	
		100.0	92.0	15.9	14.2	13.3	0.9	0.9	
性別	男性	56	50	10	9	10	0	1	
		100.0	89.3	17.9	16.1	17.9	0.0	1.8	
性別	女性	57	54	8	7	5	1	0	
		100.0	94.7	14.0	12.3	8.8	1.8	0.0	
年代	30代	29	26	6	7	4	0	0	
		100.0	89.7	20.7	24.1	13.8	0.0	0.0	
	40代	20	17	3	4	3	1	0	
		100.0	85.0	15.0	20.0	15.0	5.0	0.0	
	50代	31	30	4	3	5	0	1	
		100.0	96.8	12.9	9.7	16.1	0.0	3.2	
年代	60代以上	33	31	5	2	3	0	0	
		100.0	93.9	15.2	6.1	9.1	0.0	0.0	
割付	<男性> 30代	15	12	5	5	2	0	0	
		100.0	80.0	33.3	33.3	13.3	0.0	0.0	
	<男性> 40代	8	6	2	2	2	0	0	
		100.0	75.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	
	<男性> 50代	19	18	2	2	5	0	1	
		100.0	94.7	10.5	10.5	26.3	0.0	5.3	
	<男性> 60代以上	14	14	1	0	1	0	0	
		100.0	100.0	7.1	0.0	7.1	0.0	0.0	
割付	<女性> 30代	14	14	1	2	2	0	0	
		100.0	100.0	7.1	14.3	14.3	0.0	0.0	
	<女性> 40代	12	11	1	2	1	1	0	
		100.0	91.7	8.3	16.7	8.3	8.3	0.0	
	<女性> 50代	12	12	2	1	0	0	0	
		100.0	100.0	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0	
	<女性> 60代以上	19	17	4	2	2	0	0	
		100.0	89.5	21.1	10.5	10.5	0.0	0.0	

【考 察】

「話し合い(人生会議)をしている」113人が対象。

話し相手としては「ご家族」が92%と大多数を占めるのは、例年同様の傾向である。
複数回答で「親族」「友人」の次に「かかりつけ医」が位置しているのも、例年近似の傾向である。
「かかりつけ医」への相談の中では男性40代50代がともに25%を超えており、医師との良好な関係性が見られる。

	%
全体	113
1 延命治療(人工呼吸器設置や胃ろうの増設)を実施するかどうか	67.3
2 在宅での急変時に救急要請を行うかどうか	29.2
3 在宅でかかりつけ医による看取りを希望するかどうか	17.7
4 介護・ケアを誰にお願いするか	31.9
5 その他	9.7



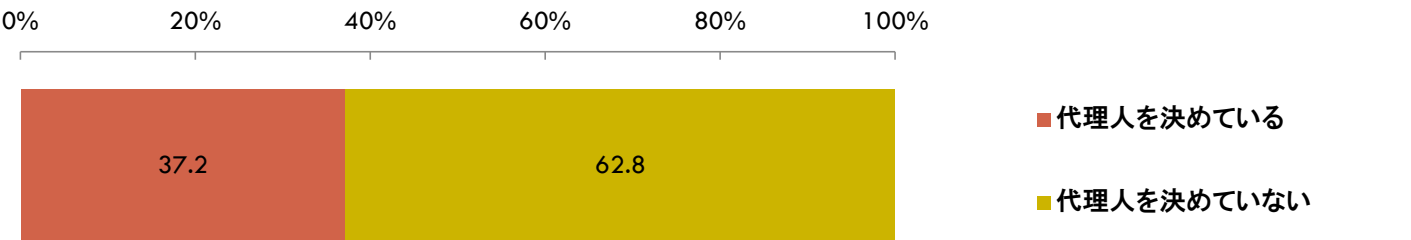
		n	実 施 す る か ど う か	胃 腸 の 増 設 を	延 命 治 療 （ 人 工 呼 吸 器 設 置 や	救 急 要 請 を 行 う か ど う か	在 宅 で の 急 変 時 に ど う か	看 取 り を 希 望 す る か ど う か	在 宅 で か かり つけ 医 に よ る	誰 に お 願 い す る か	介 護 ・ ケ ア を	そ の 他
全体		113 100.0	76 67.3	33 29.2	20 17.7	36 31.9	11 9.7					
性別	男性	56 100.0	35 62.5	22 39.3	11 19.6	19 33.9	3 5.4					
	女性	57 100.0	41 71.9	11 19.3	9 15.8	17 29.8	8 14.0					
年代	30代	29 100.0	14 48.3	10 34.5	6 20.7	10 34.5	4 13.8					
	40代	20 100.0	11 55.0	6 30.0	6 30.0	4 20.0	2 10.0					
	50代	31 100.0	23 74.2	7 22.6	2 6.5	11 35.5	2 6.5					
	60代以上	33 100.0	28 84.8	10 30.3	6 18.2	11 33.3	3 9.1					
割付	<男性> 30代	15 100.0	6 40.0	7 46.7	3 20.0	3 20.0	1 6.7					
	<男性> 40代	8 100.0	2 25.0	4 50.0	3 37.5	1 12.5	1 12.5					
	<男性> 50代	19 100.0	15 78.9	6 31.6	2 10.5	8 42.1	1 5.3					
	<男性> 60代以上	14 100.0	12 85.7	5 35.7	3 21.4	7 50.0	0 0.0					
	<女性> 30代	14 100.0	8 57.1	3 21.4	3 21.4	7 50.0	3 21.4					
	<女性> 40代	12 100.0	9 75.0	2 16.7	3 25.0	3 25.0	1 8.3					
	<女性> 50代	12 100.0	8 66.7	1 8.3	0 0.0	3 25.0	1 8.3					
	<女性> 60代以上	19 100.0	16 84.2	5 26.3	3 15.8	4 21.1	3 15.8					

【考察】

話し合いの内容としては、「延命治療」についてが最も多く67.3%。年代が高くなるのに連動して比率も高くなる。

次いで「介護ケアを誰にお願いするか」31.9%「救急要請」29.2%、「かかりつけ医の看取り希望」が17.7%と続く。こうした傾向は、例年の調査結果と大きな差が見られない。

▶ Q5-3.人生会議では、あなたが意思表示出来なくなった場合に備えて、あなたに代わり意思表示をしてくれる代理人を選ぶことが大切になります。あなたは、ご自身が意思表示出来なくなった場合に備えて、代理人を決めていますか。



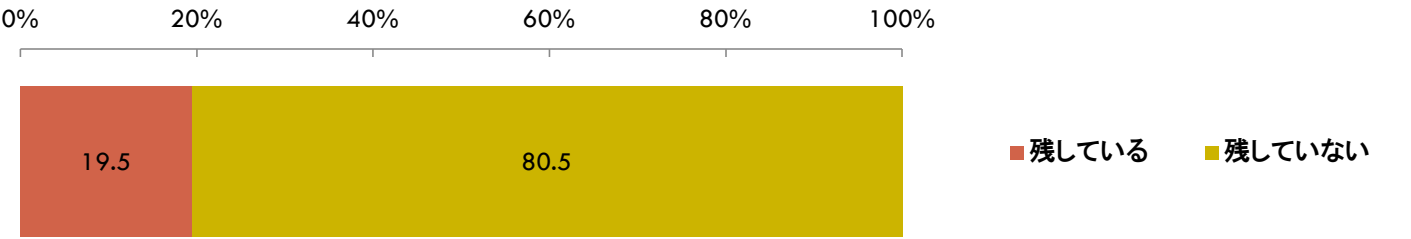
		n	代理人を決めている	代理人を決めていない
全体		113	42	71
		100.0	37.2	62.8
性別	男性	56	29	27
		100.0	51.8	48.2
女性		57	13	44
		100.0	22.8	77.2
年代	30代	29	15	14
		100.0	51.7	48.3
	40代	20	8	12
		100.0	40.0	60.0
	50代	31	10	21
		100.0	32.3	67.7
60代以上		33	9	24
		100.0	27.3	72.7
割付	<男性> 30代	15	11	4
		100.0	73.3	26.7
	<男性> 40代	8	4	4
		100.0	50.0	50.0
	<男性> 50代	19	9	10
		100.0	47.4	52.6
	<男性> 60代以上	14	5	9
		100.0	35.7	64.3
<女性> 30代		14	4	10
		100.0	28.6	71.4
<女性> 40代		12	4	8
		100.0	33.3	66.7
<女性> 50代		12	1	11
		100.0	8.3	91.7
<女性> 60代以上		19	4	15
		100.0	21.1	78.9

【考 察】

前年度の調査では、総数1000人に同じ設問を実施した。今回は人生会議を「している」113人が対象。「代理人を決めていない」が62.8%と多数派であるが、なかでも60代以上が多いのは意外な結果である。逆に「決めている」のは37.2%。なかでも30代が多く、これも意外である。

人生会議をすでに行っている113人は、あえて代理人を決める必要性を感じていないのではないかと推測できる。

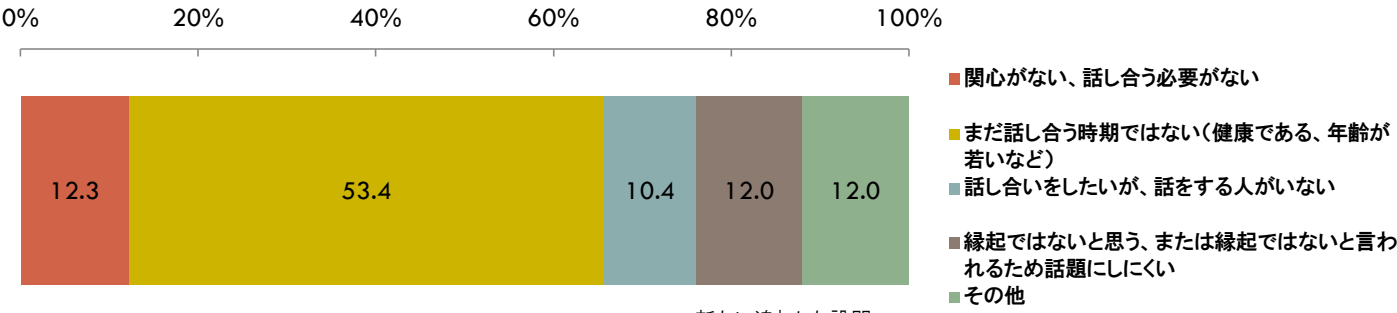
▶ Q5-4.人生会議で話し合った内容を書面に残していますか？



		n	残している	残していない
全体		113	22	91
		100.0	19.5	80.5
性別	男性	56	15	41
		100.0	26.8	73.2
	女性	57	7	50
		100.0	12.3	87.7
年代	30代	29	10	19
		100.0	34.5	65.5
	40代	20	5	15
		100.0	25.0	75.0
	50代	31	3	28
		100.0	9.7	90.3
	60代以上	33	4	29
		100.0	12.1	87.9
割付	<男性> 30代	15	9	6
		100.0	60.0	40.0
	<男性> 40代	8	2	6
		100.0	25.0	75.0
	<男性> 50代	19	2	17
		100.0	10.5	89.5
	<男性> 60代以上	14	2	12
		100.0	14.3	85.7
	<女性> 30代	14	1	13
		100.0	7.1	92.9
	<女性> 40代	12	3	9
		100.0	25.0	75.0
	<女性> 50代	12	1	11
		100.0	8.3	91.7
	<女性> 60代以上	19	2	17
		100.0	10.5	89.5

【考 察】
前年度も同様の質問を実施。今回は、書面で「残している」は19.5%。「残していない」は80.5%。総数との比率ではわずかに2.2%が「書面として残している」という結果であり、この比率は前年度と近似値である。

▶ Q6.話し合いをされていない理由は何ですか。



新たに追加した設問

		n	話し合いが必要がない	まだ話し合う時期ではない(健康である、年齢が若いなど)	話し合いをしたいが、話をする人がいない	縁起ではないと思う、または縁起ではないと言われるため話題にしにくい	その他
全体		887	109	474	92	106	106
		100.0	12.3	53.4	10.4	12.0	12.0
性別	男性	444	79	205	54	62	44
		100.0	17.8	46.2	12.2	14.0	9.9
女性		443	30	269	38	44	62
		100.0	6.8	60.7	8.6	9.9	14.0
年代	30代	221	35	135	9	26	16
		100.0	15.8	61.1	4.1	11.8	7.2
	40代	230	26	111	24	45	24
		100.0	11.3	48.3	10.4	19.6	10.4
50代		219	26	113	33	16	31
		100.0	11.9	51.6	15.1	7.3	14.2
60代以上		217	22	115	26	19	35
		100.0	10.1	53.0	12.0	8.8	16.1
割付	<男性> 30代	110	28	55	4	16	7
		100.0	25.5	50.0	3.6	14.5	6.4
	<男性> 40代	117	20	50	10	24	13
		100.0	17.1	42.7	8.5	20.5	11.1
	<男性> 50代	106	19	43	21	8	15
		100.0	17.9	40.6	19.8	7.5	14.2
	<男性> 60代以上	111	12	57	19	14	9
		100.0	10.8	51.4	17.1	12.6	8.1
女性	<女性> 30代	111	7	80	5	10	9
		100.0	6.3	72.1	4.5	9.0	8.1
	<女性> 40代	113	6	61	14	21	11
		100.0	5.3	54.0	12.4	18.6	9.7
50代		113	7	70	12	8	16
		100.0	6.2	61.9	10.6	7.1	14.2
60代以上		106	10	58	7	5	26
		100.0	9.4	54.7	6.6	4.7	24.5

【考 察】

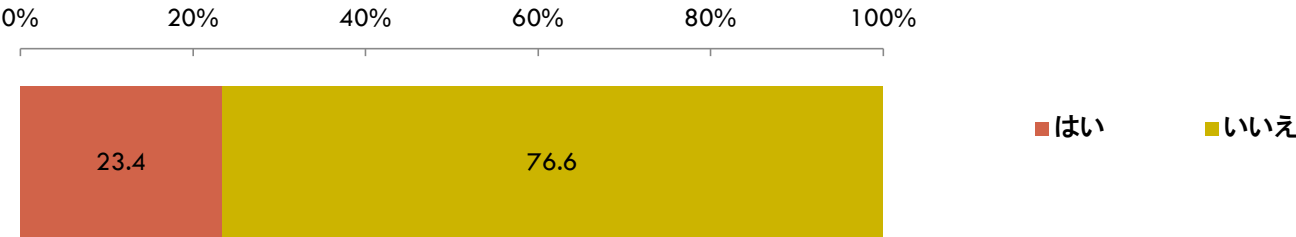
「話し合いをしていない」理由として、最も多いのが「まだ話し合う時期ではない」53.4%。以下「話し合う必要がない」12.3%、新たに設定した「縁起ではないと思う」が12%、「話をする人がいない」10.4%と続く。

複数選択ではあるものの新設問への回答が多く、人生会議を開くための心情的な障壁についての一端が垣間見える。

男女別に見ると、「関心がない」は総じて男性のほうが多く、「話し合う時期ではない」は、女性のほうが多い傾向にある。話し合わない原因を、必要性とみるか、時期とみるかで性別の差が現れた。

「その他」項目は数値としては高く、これらの設問以外の人生会議をする障壁があると思われる。今後の設問作成の課題である。

▶ Q7.人生会議で話し合ったことは、その後、本人の気持ちや環境の変化によって、その内容を変更することができます。
 人生会議は一度だけではなく、何度でも行なって考え直せることをご存知でしたか？



		n	はい	いいえ
全体		1000	234	766
		100.0	23.4	76.6
性別	男性	500	99	401
		100.0	19.8	80.2
女性		500	135	365
		100.0	27.0	73.0
年代	30代	250	75	175
		100.0	30.0	70.0
	40代	250	62	188
		100.0	24.8	75.2
	50代	250	50	200
		100.0	20.0	80.0
	60代以上	250	47	203
		100.0	18.8	81.2
割付	<男性> 30代	125	33	92
		100.0	26.4	73.6
	<男性> 40代	125	22	103
		100.0	17.6	82.4
	<男性> 50代	125	22	103
		100.0	17.6	82.4
	<男性> 60代以上	125	22	103
		100.0	17.6	82.4
	<女性> 30代	125	42	83
		100.0	33.6	66.4
	<女性> 40代	125	40	85
		100.0	32.0	68.0
	<女性> 50代	125	28	97
		100.0	22.4	77.6
	<女性> 60代以上	125	25	100
		100.0	20.0	80.0

【考 察】

令和6年度「在宅医療シンポジウムin信州」において提起された課題をもとに、今回、新たにつくった設問である。

人生会議は何度でも行なって考え直せることを知っていたのは、全体の約4分の1である。残りの4分の3には知られていない。

人生会議の内容への踏み込んだ設問ではあるが、まだまだ十分な理解が得られていないことがわかる。

ただ、この設問そのものが人生会議の大切なポイントであり、県民への意識啓発という意味合いを込めて実施した。

▶ Q8. 今後、人生会議についてのシンポジウムが近くで開催された場合、参加したいと思いますか。

0% 20% 40% 60% 80% 100%



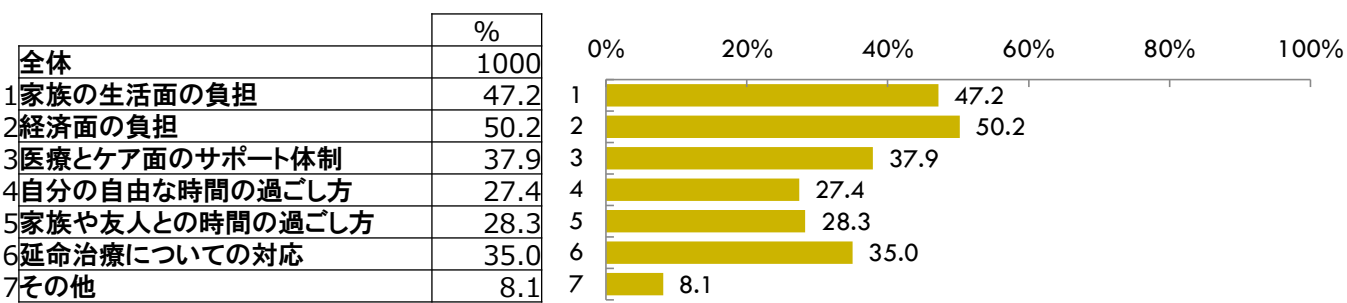
■ 思う ■ 思わない ■ どちらとも言えない

		n	思う	思わない	どちらとも言えない
全体		1000 100.0	134 13.4	332 33.2	534 53.4
性別	男性	500 100.0	62 12.4	191 38.2	247 49.4
	女性	500 100.0	72 14.4	141 28.2	287 57.4
年代	30代	250 100.0	31 12.4	89 35.6	130 52.0
	40代	250 100.0	35 14.0	82 32.8	133 53.2
	50代	250 100.0	22 8.8	76 30.4	152 60.8
	60代以上	250 100.0	46 18.4	85 34.0	119 47.6
割付	<男性> 30代	125 100.0	19 15.2	45 36.0	61 48.8
	<男性> 40代	125 100.0	14 11.2	48 38.4	63 50.4
	<男性> 50代	125 100.0	10 8.0	42 33.6	73 58.4
	<男性> 60代以上	125 100.0	19 15.2	56 44.8	50 40.0
	<女性> 30代	125 100.0	12 9.6	44 35.2	69 55.2
	<女性> 40代	125 100.0	21 16.8	34 27.2	70 56.0
	<女性> 50代	125 100.0	12 9.6	34 27.2	79 63.2
	<女性> 60代以上	125 100.0	27 21.6	29 23.2	69 55.2

【考 察】

令和5年度に続いて、2回目の設問である。シンポジウムへの参加意向は、「どちらとも言えない」が53.4%とほぼ半数である。これはシンポジウムの内容次第という思いがあるからであろう。男女別では、男性のほうが「思わない」という意思表示が強い。特に60代以上の男性は、44.8%と半数近くがシンポジウム参加に消極的である。逆に参加意向の一番高いのは60代以上の女性である。自ら出かけて情報を入れようという行動力と向上心は女性の方がやや上回っている。

▶ Q9.もし、人生会議をするなら、またはすでにした場合、あなたにとって大切なテーマはなんですか。(いくつでも)



		n	家族の生活面の負担	経済面の負担	医療とケア面のサポート体制	自分の自由な時間の過ごし方	家族や友人との時間の過ごし方	延命治療についての対応	その他
全体		1000	472	502	379	274	283	350	81
		100.0	47.2	50.2	37.9	27.4	28.3	35.0	8.1
性別	男性	500	223	227	154	133	111	140	48
		100.0	44.6	45.4	30.8	26.6	22.2	28.0	9.6
女性		500	249	275	225	141	172	210	33
		100.0	49.8	55.0	45.0	28.2	34.4	42.0	6.6
年代	30代	250	135	141	91	62	77	77	25
		100.0	54.0	56.4	36.4	24.8	30.8	30.8	10.0
	40代	250	125	132	87	77	83	95	18
		100.0	50.0	52.8	34.8	30.8	33.2	38.0	7.2
	50代	250	109	117	87	74	66	79	24
		100.0	43.6	46.8	34.8	29.6	26.4	31.6	9.6
60代以上		250	103	112	114	61	57	99	14
		100.0	41.2	44.8	45.6	24.4	22.8	39.6	5.6
割付	<男性> 30代	125	58	59	35	27	31	27	16
		100.0	46.4	47.2	28.0	21.6	24.8	21.6	12.8
	<男性> 40代	125	63	63	33	37	32	36	9
		100.0	50.4	50.4	26.4	29.6	25.6	28.8	7.2
	<男性> 50代	125	50	57	41	37	27	37	14
		100.0	40.0	45.6	32.8	29.6	21.6	29.6	11.2
	<男性> 60代以上	125	52	48	45	32	21	40	9
		100.0	41.6	38.4	36.0	25.6	16.8	32.0	7.2
	<女性> 30代	125	77	82	56	35	46	50	9
		100.0	61.6	65.6	44.8	28.0	36.8	40.0	7.2
	<女性> 40代	125	62	69	54	40	51	59	9
		100.0	49.6	55.2	43.2	32.0	40.8	47.2	7.2
	<女性> 50代	125	59	60	46	37	39	42	10
		100.0	47.2	48.0	36.8	29.6	31.2	33.6	8.0
	<女性> 60代以上	125	51	64	69	29	36	59	5
		100.0	40.8	51.2	55.2	23.2	28.8	47.2	4.0

【考 察】

「家族の生活面の負担」と「経済面の負担」は、特にケアする側の30代女性にとって大きな課題である。ケアされる側の60代以上にとっては男女ともに「サポート体制」が重要である。

「時間の過ごし方」については、総じて30代40代女性の関心が高い。また60代男性は家族や友人との時間よりも自分の時間をやや大切に思い、60代女性はその逆の傾向にある。

「延命治療」については、男性よりも女性のほうが14%も高く重要視している。

【総括】

本調査は、長野県民1000人を対象にした、在宅医療・人生会議に関するアンケート調査である。調査媒体はインターネットであり、一定のITスキルを持った方が回答者である。数年間に渡って実施している設問項目に加え、今回、いくつかの新たな設問を加えた。

「人生会議」の認知度など基本項目に関しては、継続調査と比較して、大きな変化は見られなかった。人生会議を「知っている」人数は令和5年度130人から令和6年度126人とほぼ横ばい状態である。その内容のある程度の理解度を調査したところ、言葉だけではなく内容の理解者は70人にとどまった。全体の7%である。まだまだ一般の認知度は不十分と言える。性別の傾向としては、女性の方が知識の吸収に意欲的である。年代別では、介護世代である30代40代と被介護世代である50代60代以上では、当然ながら、意識の相違が見られた。

継続的なアンケート集計の結果から、広報広告の不足は明白である。今後、人生会議や在宅医療について、幅広い世代の県民理解を得るためには、価値観の多様化も考慮しつつ、性別・世代別によるきめ細かなメディア戦略が必要であろう。特に県下ではテレビ等による広報広告キャンペーンも有効と思われる。